

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「まち全体が
学びの場」

Vol.41



地域おこし協力隊
井下友梨花さん

本気で挑戦する大人がいるまち

10月、香川県三豊市にフィールドワーク研修に行きました。
ちちぶがほま父母ヶ浜の埋め立て計画から浜を守るため、清掃活動を市民で始めたところから始まり、「自分たちのまちは自分たちがつくる」という気運が高まって、今では地元の若手の方々が、多様な事業活動を行っています。

驚いたのは、そのまちづくりの動きが、複数の若手事業者の出資により一緒に会社をつくって生まれていたこと、また、事業として成り立つ見通しを持っていたことです。生まれている会社は一つではなく、複数ありました。

往々にして、まちづくりの動きは、数年後事業として成り立つ見通しを持ちづらいことが多いように思います。町の未来への投資として、自分たちでリスクを取って事業化に取り組む姿が、新鮮で胸に刺さりました。

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「町に虹色の
輝きを」

Vol.7



地域おこし協力隊
小仲貴宏さん

にじいろのリーフレットを作成中

復興まちづくりセンターにじいろを多くの方にご利用いただいた中で、「使い方が分からない」、「何のための施設なのか」などの声を頂きました。そこで、にじいろが何を狙っているのか、何ができる施設なのかを伝えるためのリーフレットの作成を進めています(11月21日現在)。

その中では、目指している利用の姿を「利用ビジョン」という形で可視化し、イベントなどで利用する場合の申請から利用までのプロセスを大まかに示しています。ビジョンには、建設ときに掲げられた「共創」というコンセプトに加えて、新たに「共存」と「共感」を掲げています。多様な利用者が違和感なく共存し、多くの人の共感を集めて広がっていくことを目指していきたいと考えています。

12月には配布を始めているはずなので、手に取っていただき、ご意見を頂けると幸いです。

広報クイズ

ただ正しいもの、または問題本文の中の○に当てはまるものを選択し、記号で回答してください。全問正解者中10人に、500円分の図書カードをプレゼント!

問題1 ヒント…P4～7

「みんなの家」が地区集会所として活用されている地区の数は?

- A…6 B…8
C…15 D…30

問題2 ヒント…P21

「人権教育シリーズ」は、「同和教育シリーズ」として昭和○○年1月号から始まった。

- A…50 B…55
C…80 D…85

問題3 ヒント…P26

第2回益城公認ロードレース大会のスタート・フィニッシュ場所は?

- A…総合体育館 B…ミナテラス
C…陸上競技場 D…役場

応募方法

回答フォーム →



または、はがきに答えと住所、氏名を記入し、〒861-2295 益城町役場「広報クイズ」係へ。

応募締切日…12月12日必着

前月号の正解…①-B ②-D ③-C

当選者(敬称略)…安田あやか、宮本俊、藤田二鈴、鮫島胡桃、阿部琉誠、のだももか、那須村久恵、後飯塚智美、本多珠真子、佐伯幸子

応募総数…94通 全問正解数…84通

イラスト・絵手紙

イラスト
ありがとうございます!

広崎 瀬戸サイ子



絵手紙
ありがとうございます!

広崎 久保幸子